

# もろこし

2023

1

No.55



表紙  
のことば

また白鳥たちがやって来た。稲刈りが終わった田んぼで落穂を食べている姿を見かけると、つい足を止めて見入ってしまう。生まれて間もない灰色の羽根のひなをかばいながら、親子で落穂をついばむ様子は、どうしてあんなに癒されるのだろうか。しかも、肥料高騰の折、ありがたいことに、田んぼに貴重な有機物を置いていってくれる。元気に春を迎えてロシアに帰ったら、理不尽な戦争を止める平和の使者になってほしい。

(佐藤康弘農業委員)



## 年頭のごあいさつ

鶴岡市農業委員会

会長 渡部 長和

新年あけましておめでとうございます。  
コロナ禍の中で、三回

目の新年を迎えました。昨年暮れから第八波が始まり、終息の見えない新型コロナウイルス感染症に対して、感染対策を充分にとつて日頃の活動・作業をやつていかなければならない状況にあります。

昨年は、八月はじめの豪雨により、あちこちで被害が発生しました。被害にあわれた方々に心からお見舞い申し上げます。そんな中でも、農作物の方は、水稲は作況指数が99と平年並みに収穫できましたし、砂丘メロンや枝豆等も順調に生育できたようで、その他の品

目においても、それほど大きな被害もなく収穫できました。

昨年、農業経営基盤強化促進法の改正に伴い、

これまでの「人・農地プラン」が「地域計画」として法定化されることとなりました。この「地域計画」を策定するにあたっては、新たに、将来の地域の農地のあり方、農地の効率的かつ総合的な利用に関する目標等を、地域の話し合いの中で「目標地図」として現わしていくこととなり、令和5年度から2年間で、全ての地域で策定することとなります。

農業委員会としても、令和4年度は、鶴岡市と共にモデル地区として5



地域を設定し、地域の皆さんとの話し合いを通じてながら「目標地図」の策定に向けた作業を進めています。

現在、ロシアのウクライナ侵攻により、世界的な食料危機や物価の高騰が問題になっていきます。我々農業者が国産国消を目標に、食料の安全確保に努力する時です。一緒に頑張って頑張りましょう。最後に、新型コロナウイルス感染症の早い終息を願い、今年一年、より良き年になるようお祈り申し上げます。



## 皆川市長へ 要望書を提出

鶴岡市農業委員会では、農業者の声を行政の施策に反映してもらうため、市や県、国等の関係機関へ現場の声を伝える要望活動を行っています。

11月21日、農業委員会の四役が皆川治市長を訪問し、10月21日開催の第5回定例総会で決議された4件の要望のうち、鶴岡市に対する要望2件を市長に提出しました。

そのうえで、地域の農業の現状と課題、それを踏まえた要望内容の説明を行いました。また、鶴岡市の農政等に関して、幅広く意見交換を行いました。

今後も、広く農業者の声をくみ上げながら、課題解決に向けて、引き続き取り組んでまいります。

### 【総会で決議された要望】

- 農畜産物への価格転嫁に関する要望書【国へ】
- 水田活用の直接支払交付金の見直しに関する要望書【国へ】
- 中山間地域におけるスマート農業の推進に関する要望書【市・県へ】
- 大豆の生産性の向上及び消費拡大に関する要望書【市・県へ】



## 営農・担い手専門委員会

# 3年振りに視察研修を実施

他地域の担い手や農業者年金の加入推進活動等を学ぶため、農業委員らが11月14日～15日に岩手県を訪問し、視察研修を行いました。(新館登農業委員)

### 農業者年金加入推進の研修

八幡平市農業委員会では、3人の女性加入推進部長を先頭に、農業者年金の加入推進に力を入れています。八幡平市を含めた5市町で意見交換会を実施しており、その中で農業者年金の認知度の低さを実感し、講師を招いての勉強会や産直でチラシを配布するなど、周知活動にも力を入れるようになったそうです。女性委員の皆さんからは、「パンフレットを自作して配っている」「iDeCoと比較しながら農業者年金のメリットを説明している」など具体的な推進方法も伺うことができ、大変参考になりました。



### 6次産業化と経営効率化の研修

西部開発農産では、早くから6次産業化に取り組んでおり、自社生産した食材を直営店で加工・販売を行い、農業所得の向上を実現しています。約870haの大面积をこなすため、畦畔除去による大区画化やスマート農業などにも積極的に取り組み、耕作の効率化を図っているそうです。

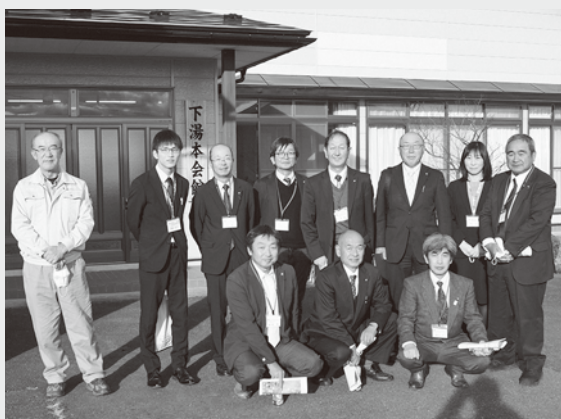
6次産業化により付加価値を付けることで農業所得向上させるなど、今後の農業経営の在り方を改めて考えるきっかけとなり、有意義な時間となりました。



### 農地の集約化の研修

花巻市のゆもとファームでは、農地の集約化に積極的に取り組んでおり、他の法人や地域の農業者と話し合いを進めているそうです。鶴岡市でも集約化の取り組みを行っており、参考となるご意見を伺うことができました。

ぬかるみが深い農地を地域としてどう集約するかといった課題もあるとのことですが、今後の地域のために頑張っていきたいと語ってくれました。



### スマート農業の研修

八幡平スマートファームでは、IoTを活用したハウス10棟からなる熱水ハウス団地で、バジルを周年栽培しています。ハウス内は11月にもかかわらず暖かく、温度管理や肥料管理など様々な部分が自動化されており、AIによる遠隔操作も可能となっていました。また、縦型の水耕栽培装置を用いることで小さな面積でも多くの収量を得ているそうです。

バジルの他に枝豆も挑戦しているとのことをお話を伺い、夢が広がる農業を拝見できました。





おしえて!

# 農業委員って どんな仕事をしているの?

員会は、田んぼや畑などの農地を売り買いしたり、貸し借りする時に相談に行き、手続きをするところ。農家の皆さんもきっと申請手続きに行ったことがあると思います。

では、農業委員は何をしているのでしょうか?



石井 光明さん(2期目)  
東部農地部会長職務代理者  
広報編集副委員長

農業委員になったきっかけは?



農業委員になって、早いもので6年目。地元の先輩から「月2回の集まりさあればいいから。勉強になるよ」と甘い話(?)をされ、「俺の代わりに頑張るよ」って誘われたのがきっかけでした。

そうだったんだ、それで引き受けたの?



委員同志の意見交換

いやいや、当時は30代後半で自分より年上の人もいるからと一度は断りました。自信がなくてね~。

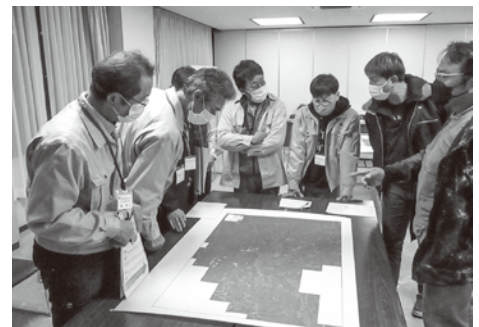
でも、なかなか後継者が見つからない先輩の姿を見て、辞める事情もあるだろうからと家族の理解もあり、家の仕事をしっかりするって約束で引き受けたんだ。

いざ、委員になると月2回の会議や行事、離農の相談や受け手の掘り起こし、農地の確認、農業者年金の紹介など委員活動は幅広く、引き受けたことをちょっと後悔したよ…。でも、2年、3年と経過して地域に知り合いも増えると委員会の仕事も少しずつ慣れて、個人的な仕事の面でも刺激を受けることも多く、楽しく活動出来る様になってきたよ。今は、誇りを持ってやっています。

さすが、地元の先輩も見る目があるね。石井さんは農地の相談、よく聞いてくれるもんね~。頼りにしているよ!

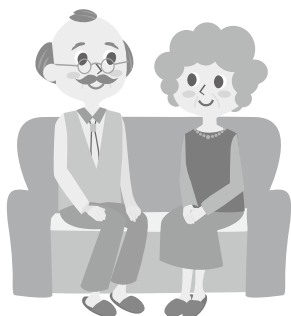


毎月開催の農地部会



農地の交換の話し合い

# 具体的にはどんな相談があるのか教えてください



## 【農地を駐車場にしたい】

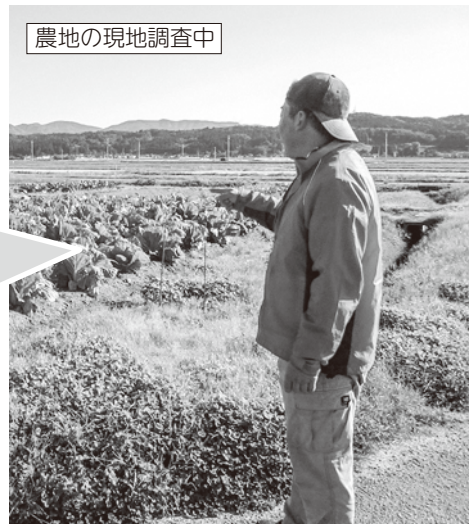
もう前みたいに農作業はできないから、今までの農地を青空駐車場にでもしたらどうかって言われている。業者さんに頼んでもいいのかしら？

農地を農地以外にすることを農地転用って言うんだけど、原則として農業委員会の許可が必要なんだよ。食料の安定供給の基盤である「優良農地の確保」は大切なことだからね。

違反転用したり、許可どおりの転用をしないと原状回復等の命令や罰則の適用も…。

勝手に工事を進めないで、まずは農業委員会に相談することが大事だよ。その後に農業委員や農地利用最適化推進委員が現地調査をして部会で判断・許可しますからね。

農地の現地調査中



## 【賃借料を変更したい】

私たち意欲的に農業を頑張っているけど、さすがに燃料費や資材費の高騰で経営が厳しい…。賃借料は変更できないの？



そうですね～、昨今のウクライナ侵攻とコロナ禍の影響で農業経営もいっそう厳しさを増しています。

一度契約した賃借料でも、出し手と受け手双方の合意があれば変更は可能なんですよ。

きちんと現状をお伝えして、受け手の方とお話してみてもはどうでしょう。

賃借料については、多くの農家からご相談を受けています。



## 最後に一言

農業委員会では、人との出会いが沢山あり、農地制度の勉強もできます！堅苦しいイメージがありますが、ほとんどの方が農家なので仕事の回し方や情報の共有もバッチリです。各地域から優しく頼もしい女性委員も活躍中です。農地のご相談は遠慮なくお声掛けくださいね。

# 農業者年金

加入しています

鶴岡 下清水

田澤 幸弘さん(49歳)

田澤 恵さん(49歳)

美しいバラに  
魅せられて

今回は下清水の田澤幸弘さん、恵さんご夫妻をたずねました。同地区のランドマーク的に建つ立派な軽量鉄骨ハウスにお邪魔し、様々なお話を伺いました。

経営は560坪の同ハウスにて十二種類のバラの生産販売を主としているとのこと。二十歳頃に寒河江市のバラ農家への研修がきっかけで、美しく咲き香るバラに魅せられ親とは異なる



丹精込めて育てたバラ

二人揃って農年加入  
節税効果も2倍

そんなほほえましい田澤さんご夫婦は、農業者年金も二人揃って加入しました。農地利用最適化推進委員として、農業者年金制度を学び、今からでも遅くないと50歳を前に、さらに加入するなら二人一緒に

バラ栽培を選び地元で一から始めたそうです。結婚を経て、徐々に経営を軌道に乗せて、現在はご夫婦で一緒に作業にあたっています。

まとまった休み、二人一緒にの休みが取れない事が目下の悩みと話す幸弘さんですが、令和二年より農地利用最適化推進委員として活躍し地域農業を牽引中です。委員活動は妻の協力が不可欠ですと、感謝の気持ちを表します。



の方がメリットも大きいと検討しての加入でした。「現役時代の節税効果は2倍、将来の夢や豊かな老後も考えますね、女性の方が平均寿命も長いですし」と、笑顔で話されます。また、農業者年金をもっと多くの人に教えたいと加入推進にも意欲的です。

沢山の花言葉があり、プロポーズや結婚など人生の節目に使用されるバラ。そんな花を育てるに相応しい夫唱婦随を体現する素敵なお夫婦でした。皆さんも記念日や大切な人へ感謝の気持ちをバラに託して送ってはいかがですか。

(野村仁 推進委員)

## あ と が き

未だ出口が見えないコロナウイルス感染症、毎年発生する豪雨などの自然災害、世界情勢の不安定から起こった円高・燃油や肥料の高騰等。私たちを取り巻く環境が一段と厳しくなる中、新しい年を迎え、今こそ、持続可能で環境にやさしい農業への取り組みを考える機会としたいものです。

(金野匡良 農業委員)

全国農業新聞

NATIONAL AGRICULTURAL NEWS

▶ 毎週金曜日発行

▶ 月額700円(税込)

▶ 申込みは農業委員会へ

農業・農政の動きを週1回タイムリーにお届け！  
経営と暮らしに役立つ情報を満載！  
身近な話題も地方版で！

NATIONAL AGRICULTURAL NEWS

鶴岡市農業委員会事務局

〒999-7696 山形県鶴岡市藤島字笹花25(鶴岡市藤島庁舎内) ☎64-5868(直) FAX.64-5846  
 ○鶴岡分室 25-2111(代) ○羽黒分室 62-2527 ○櫛引分室 57-2114 ○朝日分室 53-2117 ○温海分室 43-4616  
<http://www.city.tsuruoka.lg.jp/sangyo/nougyouinaki/index.html> 発行/年3回(1・4・9月)



バックナンバーはこちら